

# 会 議 録

会議の名称	第3回鴻巣市章・都市宣言審議会
開催日	令和2年11月4日(水)
開催時間	午後 2時00分 開会 ・ 午後 3時30分 閉会
開催場所	鴻巣市役所 303会議室
会長	会長 岡田 明
出席者(委員)氏名 (出席者数)	岡田 明(会長) 榎本 永子(副会長) 佐藤 百合子 中山 裕子 成澤 彬暢 登坂 圭一 安藤 潔 高松 博志 鈴木 将浩 松本 律子(10名)
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	0名
事務局職員職氏名	市長政策室長 根岸 孝行 市長政策室副室長 佐々木 紀演 市長政策室参事兼総合政策課長 武田 昌行 総合政策課主幹 高田 史 総合政策課副主査 羽鳥 敦 総合政策課主事 田村 友裕
傍聴者の可否(傍聴者数)	可(2名)
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 議事               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) パブリックコメントの結果について</li> <li>(2) 市章の変更について</li> <li>(3) 都市宣言について</li> </ol> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>

(決定事項など)

## 1. パブリックコメントの結果について

10月1日(木)から10月30日(金)までの期間で実施したパブリックコメントで、市章の変更について17名から意見をいただいたことを事務局から報告した。

## 2. 市章の変更について

事務局から、資料の「市章の変更に伴う対応一覧表」に基づき、第2回審議会の際に説明した内容から変更となった点について説明し、市章の変更に伴う予算が総額で270万円ほどであることを示した。これは、多くの方の目に触れるものや教育に係るものについての予算であることを説明した。

そのうえで、以下のような意見交換と質疑応答がなされた。

- ・前回示した金額(140万円)から270万円に増額となっている理由は、→学校のパネルやクレアこうのすのパネルなどの金額を精査した結果、前回示した金額から増額となった。
- ・コロナ禍だからこそ、明るい未来に向かって、市章を変えるべきだと考える。
- ・パブリックコメントとして寄せられた「コロナ禍において、必要なものに予算を使うべき」という意見ももつともだと思うが、コロナ禍だからこそ、今の状況からの転換の第一歩として市章を変え、PRしていくのは良いと考える。
- ・吹上地域、川里地域からすると、合併後に制定したマークが市章になるのは良いと思う。
- ・コロナ禍ということでネガティブになりすぎず、正しい知識を持って、前に進んでいくことが必要だと思う。
- ・鴻巣市の人口からするとパブリックコメントの意見が少ない。市民の関心が少ないのではないか。
- ・市章の変更について、チラシ等で5億円～6億円ほどの費用がかかるという意見を見ましたが、現在の市の見込みとしては270万円ほどの費用ということで、全部を変更するのではなく、必要なものについて変更していくという考えで良いと思う。

・現在の市章を知らない人が多くいると感じる。現在のシンボルマークの方が目に付くし、認知度も高いと思う。

・今回の 270 万円という費用は小さいものではないと思うが、市の PR としての予算の使い方としては有効であると考えてる。

・市内の街路灯などにある市章が古くなっているため、これを機に新しくして PR するのが良いと思う。

・新市建設計画が終了し、新しくスタートを切るためにも、市章の変更は重要であると考えてる。

・審議会の総意として、現在のシンボルマークを新たな市章とすることは妥当であるということによろしいか。

→異議なし。

### 3. 都市宣言について

・タイトルは短い方が良いと思う。

・本文を『「花かおり 緑あふれる都市」を宣言します』とするのが良いと思う。

→都市宣言名と本文中の宣言文の整合がとれている方が良いので、都市宣言名と合わせて『花と緑の都市を宣言します』の方が良いと考える。

・「醸成」という言葉を簡単に分かりやすくした方が良いのではないか。

→簡単にするのであれば「育み」という言葉が良いと思う。

・将来都市像には「人輝くまち」とあるが、都市宣言の主体は「人」であることから、都市宣言文に「人」に関するものは必要なく「花」と「緑」のみで良いと思う。

・私たちが都市宣言に基づき、花と緑の取組を実行し「花かおり 緑あふれる」まちづくりが進むことで、必然的に市民は輝き、市外から見ても魅力的なまちとなると考える。

・「地域の誇り」という表現を「鴻巣の誇り」「郷土の誇り」とするのが良いと思う。

・子どもにも分かりやすい言葉、やさしい言葉にするのが良い。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(本文6行目)「目指すため」とあるが、どのような位置づけか。現状、ある程度充実しているものをさらに発展させるという意味で良いか。 →現在の書き方だと「現状出来ていないから目指す」という意味に捉えられかねないため、「より一層進める」「さらに発展させるため」という意味にするためには書き方を変更した方が良いと考える。 →「まちを目指すため」をとってしまい、『生活を営むことができる「花と緑の都市」を宣言します。』が良いと考える。</li> <li>・花と緑の取組を推進するにあたり、市の組織体制が十分ではないと思う。 →組織として集約し、推進する部署を作った方が良い。 →継続して取組を推進できる体制をとってほしい。</li> <li>・花と緑の基金を作るなど、寄附の受け皿を作ってほしい。</li> <li>・花などの余剰分について、現物(寄附)で市民に配布するというをやりたいと思っている。 →花の提供側と受領側をつなぐシステムが必要となるため、市で推進体制を整備してほしい。</li> <li>・花をきれいに植えておくことで、ごみのポイ捨てや不法投棄が減ったという事例がある。</li> <li>・花のまちとして、個人宅にどれだけ花を植えてもらえるかを考える必要がある。</li> <li>・春と秋のクリーン運動のように、1年に一度でもいいから、「市民が花を植える機会」を作るのが良いのではないか。</li> <li>・これまでいただいた意見を参考に、会長・副会長と事務局で全体をとおして調整するということがよろしいか。 →異議なし。</li> </ul>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回鴻巣市・都市宣言審議会次第</li> <li>・ 意見公募資料</li> <li>・ 意見公募結果</li> <li>・ 市章の変更に伴う対応一覧表</li> <li>・ 都市宣言について</li> <li>・ 第2回鴻巣市・都市宣言審議会 会議録</li> </ul>